

平成25年度 京都市交通局運営方針の総括表

基本方針・重点方針	平成25年度重点取組				
	取組名	目標	計画・条例等	実績	所属等
<p>「京都市交通局市バス・地下鉄中期経営方針」（平成24年11月策定）に基づき、「歩くまち・京都」の中核を担う公共交通機関として、安全運行の徹底と快適で質の高い輸送サービスを提供するとともに、増収増客に向けた積極的な「攻めの経営」で、市バス・地下鉄事業の一層の経営健全化を全力で推進します。</p>	1 徹底した安全運行と快適で質の高い輸送サービスの提供	<p>市バスの重大事故0件 有責事故件数の大幅な減少（80件以下） 地下鉄の責任事故及び輸送障害0件 地下鉄丸丸線可動式ホーム柵の整備（実施設計及び機器製作の着手） 職員の資質向上</p>		<p>○市バス事業 ・市バスの事故件数については、3年連続で平成22年度比3割削減の水準を維持することができたが、有責事故件数80件以下（対平成22年度比半減）とする目標の達成には至らなかった。 ・運転士の接遇向上・安全運行研修と運行管理者の指導能力向上研修の実施 ・事故防止重点強化策の実施（違法駐停車への啓発による走行環境の改善） ・ドライブレコーダーの全車導入（25年度設置完了） ○地下鉄事業 ・地下鉄の責任事故については0件であったが、輸送障害が1件発生した ・丸丸線京都駅、四条駅及び丸丸池駅への可動式ホーム柵の整備（実施設計及び柵製作の着手） ・北大路駅ホームへの車掌用モニタの設置 ・地下鉄車両が故障したことを想定した訓練の実施</p>	<p>企画総務部研修所 自動車部各課 高速鉄道部各課</p>
	2 地下鉄事業の経営健全化の推進	地下鉄事業の更なる収支改善		<p>平成25年度は、収入面では、旅客数について、市民の皆様の御理解と御協力の下、地域や事業者などオール京都で人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けた臨時増発、利便性の向上、地下鉄利用のPRの取組、また、同志社大学文理学部の市内への移転などにより、前年度から1日当たり9千人増加した。 一方、支出面では、総人件費の抑制をはじめ、コスト削減の取組を着実に進めた。 その結果、経常損益は、40億55百万円の赤字となり、前年度より7億86百万円赤字が縮小するとともに、現金収支は、73億40百万円の黒字となり、前年度よりも4億22百万円黒字が拡大するなど、いずれも経営健全化計画を大きく上回る収支の改善が図れた（経常損益は36億円赤字が縮小、現金収支は32億円黒字が拡大）。</p>	<p>企画総務部各課 営業推進室 高速鉄道部各課</p>
	3 市バス事業の経営健全化の推進	経営健全化計画より2年前倒しとなる経営健全化団体からの脱却	<p>京都市高速鉄道事業経営健全化計画 京都市交通局市バス・地下鉄中期経営方針</p>	<p>経営健全化団体からの脱却については、平成24年度決算において、資金不足比率が経営健全化基準の20%を下回り、計画よりも3年前倒しで脱却することができた。平成25年度は、収入面では、旅客数について、市民の皆様の御理解と御協力の下、地域や事業者などオール京都で人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向け、公共交通の利用を促進したこと、観光系統の増便や、便利で分かりやすいダイヤの充実に取り組んだことなどにより、前年度から1日当たり4千3百人増加した。 一方、支出面では、人件費の抑制やバス車両更新台数の抑制等によりコスト削減に努めた。 その結果、経常損益は、前年度より1億46百万円黒字が増加し、27億47百万円の黒字となった。 これにより、前年度に10億35百万円あった累積欠損金は解消し、18億20百万円の利益剰余金が生じるとともに、累積資金不足については、過去最大の約144億円（平成17年度）から9億91百万円にまで縮小し、一般会計の任意補助金に頼らない自立した経営の実現に向けて大きく前進した。</p>	<p>企画総務部各課 営業推進室 自動車部各課</p>
	4 各局区と連携した増収増客の取組と積極的な営業推進	<p>予算を上回るお客様数の確保（25年度予算） ・地下鉄旅客数 1日平均342千人 ・市バス旅客数 1日平均320千人</p>		<p>平成25年度において、一日当たりの旅客数は地下鉄が348千人、市バスが326千人と、どちらも予算の数値を上回った。 ○各局区等と連携した主な増収増客取組 ・「地下鉄5万人増客推進本部」の体制の下、沿線施設や区役所との連携、イベントの開催、「若手職員増客チーム」の取組等による全庁を挙げた増客の取組 ・沿線地域への地下鉄便利情報のポスティング、芸術系大学との駅ナカアートプロジェクト、ホテルや映画とタイアップしたラリーイベント、貸切列車の運行 ○積極的な営業の推進 ・大学への通学定期券の出張販売、定期券購入時のクレジットカード対応の開始 ・三条京阪駅の店舗開業、「コトチカ山科」の店舗設置工事の着手、丸太町駅の店舗開業に向けた実施設計など、駅ナカビジネスの更なる拡大 ・四条駅や京都駅でのデジタルサイネージの新たな導入</p>	<p>企画総務部各課 営業推進室 自動車部各課 高速鉄道部各課</p>